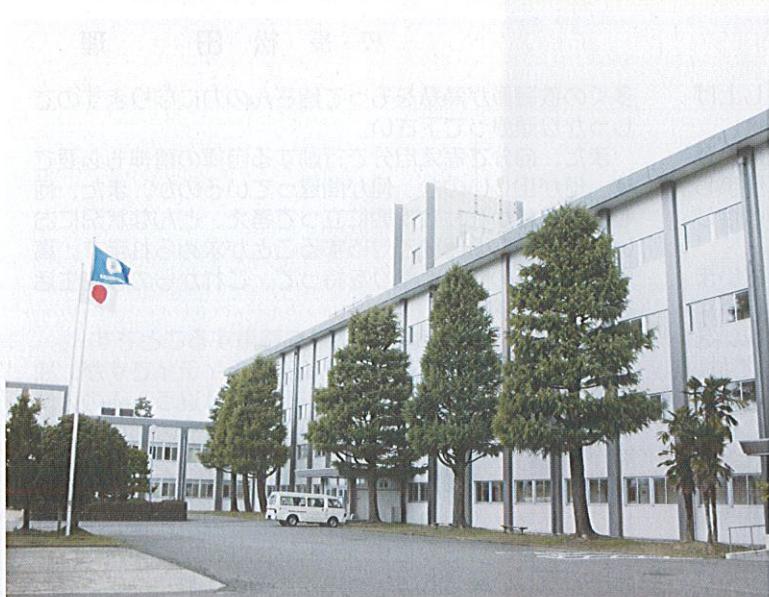


青武台だより



No.197

平成25年4月3日発行

目 次

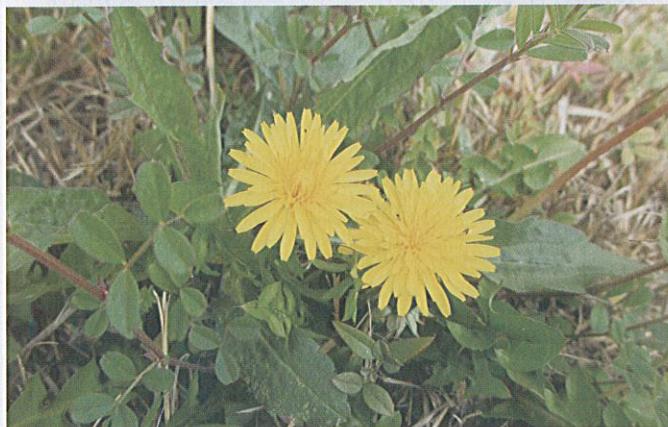
ページ

1. 新年度を迎えて

校長ほか	2
専攻主任から	6
第1学年学級担任から	7
平成25年度行事予定表	9
環境都市工学科棟改修工事完成	11

2. 活躍する仲間

第2回小水力発電アイデアコンテスト金賞受賞	11
-----------------------	----



新年度を迎えて



入学おめでとう

新入学のお祝いを述べる前に、一言ご挨拶を申し上げます。

このたび、池田大祐先生の退任に伴い、本校校長に就任致しました。前は石川高専で37年間勤めておりました。微力ながら全力を尽くし、職責を全うしたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、新入生の皆さん、入学誠におめでとうございます。この伝統ある福井工業高等専門学校へ入学されますこと、本校を代表して心から歓迎するとともにお祝いを申し上げます。また、保護者の皆様におかれましては、さぞお慶びのことと衷心よりお祝い申し上げます。

高等専門学校制度は、我が国が高度経済成長の緒に就いた昭和37年、当時の産業界の要請を受け創設され、昨年がちょうど五十周年という大きな節目がありました。

高専は、中学卒業後の早い段階から5年一貫の専門教育を行うことを基本とする高等教育機関であり、大学工学系学部卒業と同程度の専門的知識を有し、ものづくりの中核を担う創造性豊かな実践的技術者を育成することが最大の使命であります。従って、高専の教育課程では豊かな教養を身につけるための一般科目と工学分野の専門科目を「くさび形」に傾斜配分し、学年が進むに連れて専門科目の時間数が増えるようにしていること。また、実験・実習など実技系科目を重視するなど、大学工学系学部とは異なる大きな特色を有しています。

福井高専は昭和40年に設置され、養成すべき人材像として「優れた実践力と豊かな創造性を備え、国際社会で活躍できる技術者」を掲げ、適切な教育課程と充実したスタッフによるきめ細かな指導のもと、産業界や地域社会の期待に応えてきました。また、平成10年には、より高度で幅広い専門的知識と技術を備えた研究開発型技術者を育成するため、本科の教育の上に2年間の専攻科を設置し、一層の充実を図りました。科学技術の高度化、情報化、国際化がより一層進むこれからも地域に根ざし、産業界と連携・対話しながら優れた人材の育成に努めています。

さて、新入生の皆さん、この晴れの門出にあたり、本校での学びと心構えについて少しお話をさせていただきます。

まずは、自学自習の習慣と自律の精神を身につけることです。

先ほどから述べていますように、高専は大学と同じ高等教育機関であります。皆さんは義務教育を終え、自らすんで技術者の道を歩もうとして本校に入学したと思います。従って、皆さんは「生徒」ではなく、「学生」と呼ばれるのです。教育を受ける「生徒」ではなく、学問を修める「学生」なのです。この「修める」という言葉には、学ぶ、習うという行為が、自らの主体性をもつてなされる意味があり、特に強調したいところです。予習、復習を含む主体的学びの確立、つまり自学自習が求められます。そのためには、専門科目は言うに及ばず、語学や教養の科目にも興味関心を持って臨むことが大事であります。本校には立派な施設や設備があり、優れた

校長 松田 理

多くの教職員が熱意をもって皆さんの方になりますのでしっかり頑張って下さい。

また、自分で考え自分で行動する自律の精神も必要です。何が正しいのか、何が間違っているのか。また、何をなすべきかを社会規範に立てる考え方、どんな状況においても責任ある行動で対応することが求められます。高専生としての自覚と誇りを持って、これから的生活を送って下さい。

第2には、個性を磨き、個性を尊重することです。

個性とは、英語で言えばアイデンティティですが、独立性といつても良いでしょう。他人とは違う、その人にしかない性格・性質で、単なる表面的なものではなく、内面からにじみ出るものであります。これからは、世界で活躍できるグローバル人材が求められますが、日本人として、また、人間的にも、専門的にも個性を磨き、それを発揮して欲しいのです。そのことが技術革新に繋がり、日本の新しい産業創出にも貢献できると考えるからであります。また、自分の個性の確立と同時に、他人の個性を尊重して欲しいのです。生まれも育ちも異なる人間が、1つのキャンパスや寮で勉強したり生活したりするのです。当然、違った考え方、違った行動に出会うでしょう。そのときに、それぞれお互いに認め合う心が大切なのです。一人ひとりの可能性、将来を尊重して欲しいのです。社会では、馬の合う者もいれば、反りが合わない者もあります。自分とは気が合わないからといって無視したり、いじめたりすることの絶対ないようにしなければなりません。本校で、立派な技術者、社会人になる準備をして下さい。

第3には、学生生活の基本と言えるABCを守っていただきたいのです。

Aは、ローマ字ですが「挨拶 (Aisatsu)」です。挨拶は学生であろうが、社会人であろうが、また、子供であろうが、大人であろうが、社会を構成する一員としての基本的マナーであり、生活習慣です。まず挨拶を交わすことから会話が始まり挨拶で終わる。挨拶のないコミュニケーションはありません。是非、習慣づけていただきたいと思います。

Bは、これもローマ字ですが「美化 (Bika)」です。校内美化に積極的に取り組み、きれいで清潔な環境の中で勉学に勤しんで下さい。

Cは、英語で「コンプライアンス(Compliance)」です。これは法令順守のことと、さまざまな規則やマナーを守り、安心・安全で信頼感の保たれた学習環境を作り、気持ちの良い快適なキャンパスライフを送って欲しいと思います。

新入生の皆さん、あなたの方の前途は洋々たるもので。初心を忘れず目標を持って、これから五年間、専攻科生は二年間が充実した学校生活となるよう、勉学、部活動等に頑張って下さい。そして、心身共に大きく成長し、自らの人生の未来を主体的に切り拓く能力を培い、国内外で活躍・貢献できる技術者に育つことを期待しています。

新年度を迎えて

新年度を迎えて



入試の中の「ドラえもん」

教務主事 上島 晃智

いささか旧聞ではあります、東京の麻布中学校の入学試験問題に『「ドラえもん」がすぐれた技術で作られていても、生物として認められることはあります。それはなぜですか?』という問題が出されたそうです。皆さんならどう答えるでしょうか。そして、もう少し考えを進めるならば、名門中学校は、受験生に何を問い合わせ、どのような答えを期待したのでしょうか。決して「なぞなぞ」としての回答を期待しているわけではないでしょう。たぶん、将来を期待される小さなサイエンティストとして、受験生の、物事の本質をとらえる目を確かめたかったのだろうと思います。

ところで、本校のロゴマークをご存じでしょうか。(知らないという方は、この冊子の題字左側をご覧下さい) 福井の“F”をモチーフにした成長する若葉の横にCreativity and Curiosityと記されています。「創造性と知的好奇心」これは、本校が皆さんに持ち続けて欲しいと願っている文化的遺伝子(meme)そのものです。その視点に立って上の問題の答えをこれから探してみませんか。何年後か、この学校を卒業するときにあなたの出したその答えに対して、私たちはどのような点をつけることができるでしょうか。もし、丸を通り越えた花丸の、その先の、教える私たちも一緒にわくわくできるような、大きなハートマークを付けられる答えを出してくれるなら、教員としてこんなに嬉しいことはありません。

入学、進級された皆さんには、いま、それぞれに次の課題に向けた新たなスタートを切ろうとしています。技術創造立国の礎を私たちが担っているという自負を忘れることなく、自己実現のために計画を立て、自身の将来を描きながら、ハートマークの答を創り出す努力を惜しまないで欲しいと思います。

新年度を迎えて
-「信頼」ということ

学年主事 藤田 克志

「ここに一枚の写真がある」という一文で始まる沢木耕太郎『キャバの十字架』は、「最も有名」な写真である「崩れ落ちる兵士」が本当に戦争写真家のロバート・キャバが撮影したのか、ということを探索する話です。キャバ22歳で撮影された「崩れ落ちる兵士」は「スペイン戦争時に、共和国軍兵士が」「銃弾に当たって倒れるところを撮ったとされる写真」で、キャバの死後、その真偽が問題になりました。『キャバの十字架』では、誰がいつどの場所でどのような状況で撮影したのか、を検討しています。しかしわたしには、その写真を「撮影」した後のことの方が興味を惹かれる内容でした。キャバは「本当の戦場」を目指し、30歳のとき、ノルマンディ上陸作戦で「波の中の兵士」という「間違いなく「敵」に背を向けてカメラを構えていたこと」にならないと撮影出来ない1枚をものにします。キャバはどうして過酷な状況の中に自分を投入したのでしょうか。それは「本当の戦場」で「敵」に背を見せないと、22歳で得た名声に「信頼」を寄せてもらうことが出来ない、と考えたからではないでしょうか。きみはこの「信頼」についてどう考えるでしょうか。



新年度を迎えて



新年度を迎えるにあたって

寮務主事 塙 川 武 弘

新入生の皆さん入学おめでとうございます。新入寮生の皆さん入寮を歓迎いたします。在校生の皆さんも新たな気持ちで新学年を迎えていらっしゃることと思います。この1年間が勉学や自主活動などで良い年度となることを期待しています。

本校の学生寮はこの4月から待望のエアコンの設置ができました。夏の暑さへの対策、冬の寒さへの対策、梅雨時の湿気対策など居住環境の改善に役立つと考えています。

家族のもとを離れての寮生活には、自宅での比較的自由気ままな生活とは異なった、規律と規則の遵守を求められる「不自由さ」があります。また、異学年・異年齢の人たちとの日常的な付き合いが求められます。これは多くの人ときちんと礼儀正しく接する良い練習の機会です。同時に勉学や学校生活の様々なことについて身近に相談できる同級生や上級生が周りにたくさんいることは寮生活の大きな強みです。更に学生寮には教員が交代で毎日宿直をしていますので、先生方からもいろいろと話を聞いて下さい。

学生寮は学校敷地の中で一番日野川に近い場所にあり、飛来する様々な野鳥を身近に観察することができます。まだまだ自然に恵まれたこの鯖江の地で皆さんのが充実した高専生活となることを期待しています。



国際的な技術者を目指して

専攻科長 阿 部 孝 弘

16期生の皆さん専攻科入学を歓迎します。皆さんは本科5年間で自分の得意とする技術分野、すなわち出身学科に関連する分野における知識と能力を身に付けてきました。専攻科ではその知識をさらに深化させるとともに、異なる技術分野の知識を積極的に吸収してください。

専攻科では2012年度に、4名の学生を海外へ派遣しました。このうち2名は2回行っています。派遣内容は、タイで開催されたISTS2012 (International Symposium on Technology for Sustainability 2012)へ2名、シンガポールで開催されたテマセク・ポリテクニック技術英語研修に2名、台湾で開催された 2012 Japan-Taiwan Symposium on intelligent Green and Orange (iGO) Technology に1名、そして平成24年度中部日本海高専国際化推進事業としてタイのキングモンクット工科大学での研修に1名です。最初の2つは国立高等専門学校機構が主催で、専攻科2年生が参加しました。また、後の2つは他高専のプロジェクト事業であり、専攻科1年生が参加しています。これらの事業における渡航費用は主催者がほとんど負担しますから、参加学生の負担はないか非常に少ない額になります。1年生の皆さんも積極的にチャレンジして欲しいと思います。

ただし、誰でもが行けるわけではありません。研究発表を含むものもありますから研究成果をまとめ上げる能力、また語学力の審査があります。語学力はほとんどがTOEICスコアによります。そして最も重要なことは異文化と交流したいという強い気持ちを持っているかです。

これからの中では世界に向けて仕事ができる技術者が求められてきます。昨年アルジェリアで不幸な事件が起こりました。技術者として海外で仕事をする場合は発展途上国が多くなりますが、犠牲になられた技術者の方々の意思を尊重し引き継いでいく気持ちを持ってほしいと思います。そのためにも、学生時代に異文化に対する相互理解を行う活動を積極的に行ってください。

新年度を迎えて

学年はじめにあたって



情報収集と勉強プラスαに!

図書館長 吉田三郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい生活が始まり、いろんな情報があふれる中で、精いっぱいアンテナを伸ばして幅広い学生生活を楽しんで欲しいと思います。そして図書館の活用は、その中でも重要なものの一つです。国語の先生からもきちんと説明を受ける時間はありますが、今日からでも利用可能ですから、是非一度見学に来られてはいかがでしょうか？

高専の図書館は、中学や高校の図書館とは異なり、県内の大学や公立の図書館ともつながっています。たとえば必要な書籍が福井市立図書館や県立大学にあるときに、高専のカウンターで申し込めば取り寄せてもらえます。館内約10万冊の蔵書だけでなく、さらにその先まで情報検索は広がっていきます。

また、ブックハンティングと称して、各クラスの学生の代表（図書委員）が町の書店に出向いて、最新の希望書籍を購入する機会も設けられていますから、本の好きな人はクラスの図書委員になるのもいいかもしれません。

図書館には書物だけではありません。パソコンコーナーやDVD、さらにはBlu-rayソフトなども閲覧できる部屋がありますから、こちらも一度見に来て下さい。みなさんの先輩にあたる学生諸君の要望にも応えながらそろえていった映画ソフトのライブラリーです。今後は皆さんのリクエストも受け付けます。そういうわけで、皆さんの気になる高専の試験問題の過去のデータもあったりします。

約100席ある現在の閲覧室では、熱心に読書する学生の他にも試験勉強やレポート作成、さらには1年生で習う製図よりはるかに専門的で精巧な図面に機械工学科の先輩たちが熱心に取り組んでいる姿も見られるかもしれません。入口近くには読みやすい洋書も1000冊ほどそろえてありますし、図書館の自動ドアを開いて、一日も早く足を運んでくれることを期待しています。



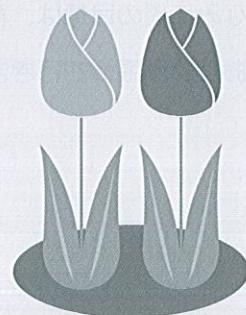
新生活をむかえて

学生相談室長 中谷実伸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。春休みは満喫できましたか。受験勉強から解放されて、気が抜けた状態ではなかったでしょうか。それとも英語や数学の春休み課題に、一生懸命頑張っていたでしょうか。

今は、これから始まる新しい生活に、期待と不安で胸をふくらませているのではないかと思います。高専という環境は、皆さんのが3年間過ごした中学校とはまるで違う環境です。このちょっと不思議な環境で、さんは10代後半の5年間という、とても大切な時期を過ごします。

皆さんにとって、高専で過ごす5年間は、長いようでは実はあっという間です。学生相談室は、さんのそんな高専生活をサポートする場所の1つです。学生食堂の2階に、相談室と保健室があります。相談員として専門のカウンセラーの先生と教員3名がいます。慣れない環境で、不安やストレス、困ることもいっぱいあるでしょう。勉強のこと、友達のこと、家族のこと、自分自身のこと。なんでも結構です。いつでも気軽に学生相談室を尋ねてみてください。



新年度を迎えて

新入生を迎えて 専攻主任から



○がんばっていきまっしょい○

生産システム工学専攻主任
亀山 建太郎

つかの間の春休みも終わり、いよいよ新学期が始まりました。「さて、これから頑張ろう」と思っていることと思います…が、皆さん、春休みの間は何をしていましたか？ちょっと思い出してほしいのですが、皆さんが進学先を選ぶに当たって、高専／専攻科を選んだ理由の中に、「やりたいことができる／本科と継続した勉強ができる」というのがなかつたでしょうか？長期休暇はそういうことに全力投球できるチャンスです。というわけで、春休み明けのさんは、やりたいことだけに朝から晩まで晩から朝まで一心不乱に取り組んでいた筈なので、ぐたくたに疲れていることと思います。ですので、しばらくの間は、授業など聞いて、ゆっくりしてもらえばと思います（与えられた事だけやっていればいいというのは、とてもラクチンな事です。そのうち分かります）。また、「ゆっくり休んでしまった！」という人は、既に出遅れているということですから、気合いを入れましょう。今年度の終わりに、「今年はコレをやった」と説明できるように頑張って下さい。ちなみに僕の目標は、君たちを頑張らせることです。お互い頑張って行きましょう。



○2年間共にがんばろう！○

環境システム工学専攻主任
高山 勝己

専攻科ご入学おめでとうございます。今年度から環境システム工学科主任を担当することになりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

ところで、なぜみなさんは専攻科を大切な進路として選択したのでしょうか？そこで、これまでの私の経験を踏まえて専攻科のよいところを考えてみました。それは、各学科の専攻科担当教員と特別研究指導教員が懇切丁寧に学生の勉学、研究、進路指導に対応するので、みなさんには本科と同様に担任のような存在がいるということです。さらに、専攻科修了後の進路として、就職はもちろんのこと、もっと勉強したいという人には、大学院への道も開かれているということです。最近では、専攻科在学中から特定の大学の研究室と共同研究を行うことで、そのまま当該大学院（研究室）へ進学することも容易になっています。大学に比べて学費も安くてすみ親孝行もできます。そして、何といっても、本校の教員とみなさんとの人間関係は、すでに5年間にわたり構築されており、みなさん一人一人の能力や個性を十分に理解しています。これらは何よりも専攻科のよいところです。これから2年間共にがんばりましょう。

新年度を迎えて

新入生を迎えて 学級担任から



○ようこそ、福井高専へ○

F1クラス担任
井之上 和代

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。新しい生活を迎える、期待と不安で胸がいっぱいだと思いますが、今日の気持ちを忘れずに、この学校のこの仲間達だからこそ！の経験をして、5年間の生活を楽しみましょう。

みなさんは、TPOという言葉を聞いたことがあるでしょう。TPOとは「時間(time)」、「場所(place)」、「場合(occasion)」に応じて、服装を選ぶという意味によく使われていると思いますが、服装だけではなく、言葉遣いや態度、行動などにも使われる言葉です。勉強はもちろん、体育祭や高専祭のような学校行事、部活動、友人との交流などがみなさんを待っています。先輩達の姿を見ていくうちに、わかってくると思いますが、TPOを心得た先輩達は、行事、部活動などの楽しい場面だけでなく、生活態度、勉学の面でも輝いています。彼らの後ろ姿を見習い、勉強すべきときは集中する！などTPOを使い分けていけるようになります。そして学生生活を思い切り楽しんでください。

教員として、そんなみなさんの成長の手助けをできるのは、たいへん光栄です。みなさんの姿を後輩達が引き継いで、福井高専も成長していきます。その牽引役になっていってくれることを期待しています！

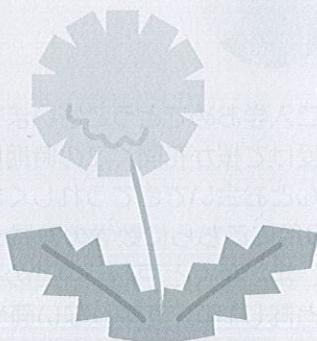


○新入生の皆さんへ○

F2クラス担任
大久保 弦

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、今日のご入学にあたって、いろいろな期待や夢に胸を膨らませていることと思います。今日からは、この福井工業高等専門学校の学生として、その実現に向かって一步を踏み出すことになりました。あるいはこれから始まる五年間に不安もあるかもしれません、自分の目標を見失わず、向上する意欲を持ち続けさえすれば、必ず乗り越えていけるでしょう。

高専での5年間は、社会に出てから必要とされる知識や技術を習得して高度な思考力や広い視野を身につけることはもちろん、今後一生自分で自らの人生を切り開いていく一人前の人間になるための、人格形成のための五年間でもあります。そのため、本校で、多くの友人や先生方と共に学ぶ一日一日を大切にし、心豊かな人間として成長してほしいと思います。ぜひともこれからの高専生活を充実したものにして下さい。



新年度を迎えて



○「こなせる」自分になろう○

F3クラス担任
吉田三郎

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。春休みの課題の説明で3月の上旬にお会いした時に、高校とは少し異なる高専生としての生活に、緊張感とともに期待と希望に胸を膨らませていたのを覚えています。今日からは本当に高専の学生となりました。実際に入学式を迎え、「学生の本分」に基づく生活を宣誓する署名を書いてみた感想はいかがでしょうか。

高専は卒業までに5年かかる高等教育機関です。最初は高校生のようなつもりでも、5年後には大学の工学部の学生のように卒業研究にも取り組み、ものづくりの技術を学んだ若きエンジニアとなって巣立って欲しいと思います。

先日、卒業研究を終えて、大学でさらに研究を続けるという5年生と話をすることがありました。1年かけて、ロボコンに出場したロボットの動きをCGでモデル化するプログラムを作っていたのですが、なんと独学で本を読みながらの研究もしていたそうです。機械科ながら電気も好きで、さらにプログラミングにも興味があつての独学とか。カッコいいと思いませんか？皆さんも高専でいろんなことを学びながら、いろんな課題を主体的に「こなせる」自分になれるよう、ときには苦労しながらも知識と経験を積み上げていってください。成長を期待し、サポートしていきたいと思います。

いけたらいいなあと思います。

さて、皆さんはやりたいこと（例えば勉強や部活動）がたくさんあってこの学校に入学したことと思います。これから学校生活の中で、楽しいことももちろんあると思いますが、つらいことや失敗をすることがあるでしょう。でも、そのような経験は皆さんのが大人へと成長する上でとても貴重なものとなります。ですので、初心を忘れず、失敗を恐れず、チャレンジ精神をもって、何事にも主体的に行動して下さい。きっと充実した学校生活を送ることができると思います。

それではこのクラスでよかったなあと思えるように、1年間頑張っていきましょう。これからどうぞよろしくお願いします。



○高専生活の維持に必要なりズム○

F5クラス担任
原口治

皆さんの入学を心から歓迎します。

これから始まる高専生活を、卒業まで見通せる新入生は当然少ないのでしょう。そんな予測は不安を生むだけです。そこで、新入生に最低限必要と思われる、「日常生活のリズム」について、主なものだけをここに記します。

①朝食を必ず摂り、制服を着て8時50分には登校する。②講義では自筆のノートをつくる。③クラスメートと会話する中で、自らの価値観を絶えず修正する。④掃除をする。⑤休み時間は休む。

これらは平凡なものにみえますが、高専生活に不可欠な基礎となるリズムになります。

年齢だけすべてが決まるという年功序列制度が、日本経済を停滞させた主因の一つとして、厳しく指摘されています。しかし、日常の積み重ねを自らの向上心と共に大切にして成長した人間は、「学級」であり、「職場」であり、尊敬されるべき先輩となります。そして知と情の「継承」により、組織の維持に貢献します。この姿勢は高専で大切とされる「ものづくり」の精神的土台になります。皆さんにはそんな大人になってもらいたい。そこで、上記の実践を中心に、学級担任としてF5クラスに接していきたい、と私は考えています。



○ 担任1年生 ○

F4クラス担任
山田哲也

ご入学おめでとうございます。春の暖かな日差しを受けて桜が花開くこの時期に希望に満ち溢れた皆さんとお会いできてうれしく思います。私自身も昨年9月にこちらに数学の教員として赴任したばかりで、まだ色々と戸惑う中での初めて担任です。皆さんと同じ1年生で頼りない面や失敗することもあると思いますが、皆さんと一緒に楽しいクラスにして

新年度を迎えて

◆◆◆ 平成25年度 行事予定表（前期）◆◆◆

4月		5月		6月	
1月	春季休業（～3日）	1水	休講 体育祭（延期の場合は水曜日の短縮授業）	1土	高校春季総体県予選
2火		2木	（体育祭予備日）（木曜日の授業）	2日	高校春季総体県予選
3水	入寮式（10:30） 新入寮生オリエンテーション（11:00） 開寮（14:00）	3金	憲法記念日	3月	
4木	入学式（10:00） 専攻科オリエンテーション 2～5年HR（11:00） 教育後援会総会（12:00） 保護者懇談会（13:30）	4土	みどりの日	4火	
5金	一斉健康診断（本科・専攻科） 課題確認テスト	5日	こどもの日	5水	
6土		6月	振替休日	6木	前期中間試験
7日		7火		7金	前期中間試験・前期中間まとめ
8月	前期授業開始	8水		8土	
9火		9木		9日	
10水	短縮授業 専攻科特別研究中間発表会	10金	短縮授業 授業終了後HR大掃除 キャンバスウォーク準備	10月	前期中間試験
11木		11土	キャンバスウォーク	11火	前期中間試験
12金		12日		12水	前期中間試験・前期中間まとめ（特別活動・卒研を含む）
13土		13月		13木	
14日		14火		14金	
15月	午前：休講 新入生歓迎会、クラブ紹介	15水		15土	
16火	新入生オリエンテーション合宿	16木		16日	
17水	新入生オリエンテーション合宿	17金		17月	
18木	学生総会	18土	寮祭	18火	
19金		19日	寮祭 舞鶴高専交歓試合	19水	
20土		20月		20木	
21日		21火		21金	
22月		22水		22土	専攻科学力選抜（前期）
23火		23木		23日	
24水	（開校記念日）	24金		24月	
25木		25土	専攻科推薦選抜	25火	
26金		26日		26水	壮行会
27土		27月		27木	
28日		28火		28金	
29月	昭和の日	29水	5月1日（水）体育祭の場合は水曜の授業 5月2日（木）体育祭の場合は木曜の授業	29土	北陸地区高専体育大会（ラグビー・野球）（金沢高専）
30火	午前：月曜日の授業 午後：休講 体育祭準備	30木	5月2日（木）体育祭の場合は木曜の授業 5月1日（水）体育祭の場合は金曜の授業	30日	
備考	※2年～5年生は、4月8日の週に達成度評価シートを記入する。	31金	高校春季総体県予選 休業	備考	
7月		8月		9月	
1月		1木	本科期末試験 試験終了後HR大掃除 専攻科休講 専攻科オリエンテーション	1日	全国高等専門学校体育大会
2火		2金	休業 キャンバスツアーアー準備	2月	
3水		3土	キャンバスツアーアー	3火	
4木		4日		4水	
5金		5月	専攻科期末試験	5木	
6土	北陸地区高専体育大会（金沢高専） 全国高専サッカー予選北信越大会（福井高専）	6火	専攻科期末試験	6金	
7日	北陸地区高専体育大会（金沢高専） 全国高専サッカー予選北信越大会（福井高専）	7水	専攻科期末試験	7土	
8月		8木	専攻科期末試験	8日	
9火		9金	専攻科期末試験	9月	
10水		10土	夏季休業（～9/29） 閉寮（14:00）	10火	
11木		11日		11水	
12金		12月		12木	保護者懇談会開始
13土	保護者会総会・保護者懇談会（学生寮）	13火		13金	
14日		14水		14土	
15月	海の日（予備日）	15木		15日	
16火	月曜日の授業	16金	全国高等専門学校体育大会	16月	敬老の日
17水		17土	全国高等専門学校体育大会	17火	
18木		18日	全国高等専門学校体育大会	18水	
19金		19月	全国高等専門学校体育大会	19木	
20土	編入学試験	20火	全国高等専門学校体育大会	20金	
21日		21水	全国高等専門学校体育大会	21土	
22月		22木	全国高等専門学校体育大会	22日	
23火		23金	全国高等専門学校体育大会	23月	秋分の日
24水	休業（予備日）	24土	全国高等専門学校体育大会	24火	学力強化週間
25木	本科期末試験（専攻科授業）	25日	全国高等専門学校体育大会	25水	学力強化週間
26金	本科期末試験（専攻科授業）	26月	全国高等専門学校体育大会	26木	学力強化週間
27土		27火	全国高等専門学校体育大会	27金	学力強化週間
28日		28水	全国高等専門学校体育大会	28土	
29月	本科期末試験（専攻科授業）	29木	全国高等専門学校体育大会	29日	開寮（10:00）
30火	本科期末試験（専攻科授業）	30金	全国高等専門学校体育大会	30月	本科：後期授業開始 0限目 SHR 専攻科：後期授業開始 0限目 後期ガイダンス
31水	本科期末試験（専攻科授業）	備考		備考	

新年度を迎えて

◆◆◆ 平成25年度 行事予定表（後期）◆◆◆

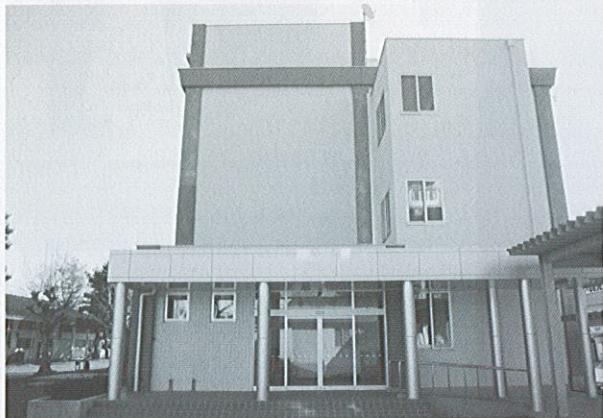
10月		11月		12月	
1 火		1 金		1 日	
2 水		2 土	専攻科学力選抜(後期)・社会人特別選抜	2 月	後期中間試験
3 木	防災訓練 短縮授業	3 日	文化の日	3 火	後期中間試験
4 金		4 月	振替休日	4 水	後期中間試験
5 土	大学・大学院合同説明会	5 火	月曜日の授業	5 木	午前：後期中間まとめ(特別活動・卒研を含む) 午後：キャリア教育セミナー
6 日		6 水		6 金	
7 月		7 木		7 土	
8 火		8 金		8 日	
9 水		9 土	全国高専デザインコンペティション(米子高専)	9 月	
10 木		10 日	全国高専デザインコンペティション(米子高専)	10 火	
11 金	短縮授業 キャンパスリサーチ準備	11 月	3年見学旅行	11 水	
12 土	キャンパスリサーチ	12 火	3年見学旅行	12 木	
13 日	全国高等専門学校プログラミングコンテスト(旭川高専)	13 水	遠足(1、4年) 校外研修(2年) 交流会(5年) 3年見学旅行 専攻科交流会(1、2年)	13 金	
14 月	体育の日 全国高等専門学校プログラミングコンテスト(旭川高専)	14 木	3年見学旅行	14 土	
15 火	短縮授業 専攻科インターナシップ報告会	15 金	3年見学旅行	15 日	
16 水		16 土	高校秋季総体県新人大会	16 月	
17 木	専攻科生校外発表(北陸技術交流テクノフェア)	17 日	高校秋季総体県新人大会	17 火	
18 金	専攻科生校外発表(北陸技術交流テクノフェア)	18 月	高校秋季総体県新人大会	18 水	授業終了後HR大掃除
19 土		19 火		19 木	
20 日	東海北陸地区高等専門学校ロボットコンテスト(鎌鹿高専)	20 水		20 金	
21 月		21 木		21 土	閉寮(14:00)
22 火		22 金		22 日	
23 水	短縮授業 クリーン大作戦	23 土	勤労感謝の日	23 月	天皇誕生日
24 木	休講 午前：弁論大会 午後：高専祭準備	24 日	全国高等専門学校ロボットコンテスト(国技館)	24 火	冬季休業(～1/7)
25 金	休講 高専祭	25 月		25 水	
26 土	高専祭	26 火		26 木	
27 日	高専祭	27 水	休業(予備日)	27 金	
28 月	休講・高専祭後始末・校外実習発表会	28 木	後期中間試験	28 土	
29 火		29 金	後期中間試験・後期中間まとめ	29 日	
30 水		30 土		30 月	
31 木	備考			31 火	
1月		2月		3月	
1 水	元日	1 土		1 土	
2 木		2 日		2 日	
3 金		3 月		3 月	休業 本科5年卒研発表
4 土		4 火		4 火	休業 本科5年卒研発表 5年HR 達成度評価シート記入
5 日	開寮(10:00)	5 水	本科5年期末試験、専攻科2年期末試験	5 水	休業
6 月		6 木	本科5年期末試験、専攻科2年期末試験	6 木	休業
7 火		7 金	本科5年期末試験、専攻科2年特別研究	7 金	休業
8 水	授業開始	8 土		8 土	休業
9 木		9 日		9 日	閉寮(14:00)
10 金	月曜日の授業	10 月	本科5年期末試験、専攻科2年特別研究	10 月	休業
11 土		11 火	建国記念の日	11 火	休業
12 日		12 水	火曜日の授業、本科5年期末試験、専攻科2年特別研究	12 水	休業
13 月	成人の日	13 木	本科1～4年、専攻科1年期末試験 本科5年授業、専攻科2年特別研究	13 木	休業
14 火	休業(予備日) 午前：国立高等専門学校学習到達度試験(3年)	14 金	本科1～4年、専攻科1年期末試験 本科5年授業 午後：専攻科特別研究発表会	14 金	休業
15 水		15 土		15 土	
16 木		16 日		16 日	
17 金		16 日	学力選抜検査日	17 月	卒業・修了式
18 土		17 月	休業	18 火	休業
19 日	推薦選抜検査日	18 火	本科1～4年、専攻科1年期末試験 本科5年授業	19 水	休業
20 月		19 水	本科1～4年、専攻科1年期末試験 本科5年授業	20 木	休業
21 火		20 木	本科1～4年、専攻科1年期末試験 本科5年月曜日の授業	21 金	春分の日
22 水	学生総会	21 金	本科1～4年、専攻科1年期末試験 本科5年特別学習	22 土	
23 木		22 土		23 日	
24 金		23 日		24 月	学年末休業(～3/31)
25 土		24 月	本科1～4年、専攻科1年 特別指導(短縮授業)・特別学習 本科5年特別学習	25 火	
26 日				26 水	
27 月		25 火	本科1～4年、専攻科1年 特別指導(短縮授業)・特別学習 本科5年特別学習	27 木	
28 火		26 水	本科1～4年、専攻科1年 特別指導(短縮授業)・特別学習 本科5年特別学習 授業終了後HR大掃除	28 金	
29 水		27 木	本科1～4年、専攻科1年 特別指導(短縮授業)・特別学習 本科5年特別学習	29 土	
30 木		28 金	本科1～4年、専攻科1年 特別指導(短縮授業)・特別学習 本科5年特別学習	30 日	
31 金	備考			31 月	
				備考	

新年度を迎えて・活躍する仲間

環境都市工学科棟改修工事完成

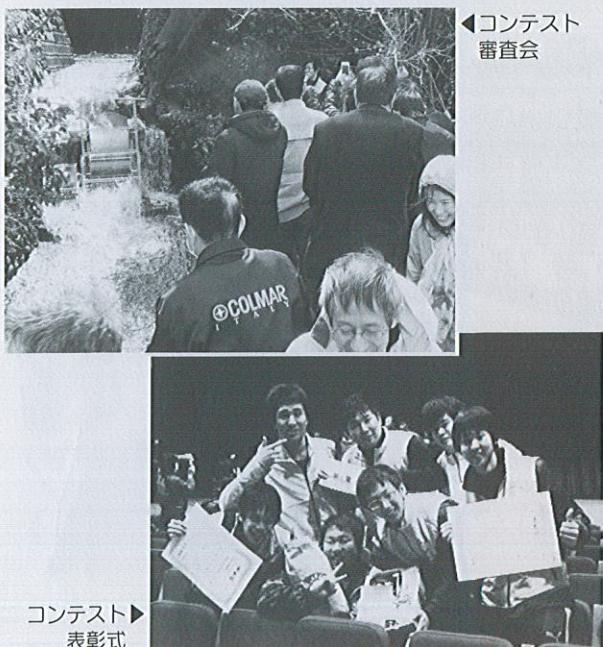
環境都市工学科棟の改修成る!!

—コンセプトは“協同”— みんなで、ものづくり、環境づくりを学びます。



第2回小水力発電アイデアコンテストで金賞を受賞

第2回小水力発電アイデアコンテストで本校のTHE (Technology of Hydraulic Energy) 研究会が金賞と地域貢献賞を受賞しました。このコンテストは、高専生を対象としたもので、小水力発電設備の企画から設計・製作・設置までを行い、発電効率や発電した電力の用途、独自性などを競うもので、



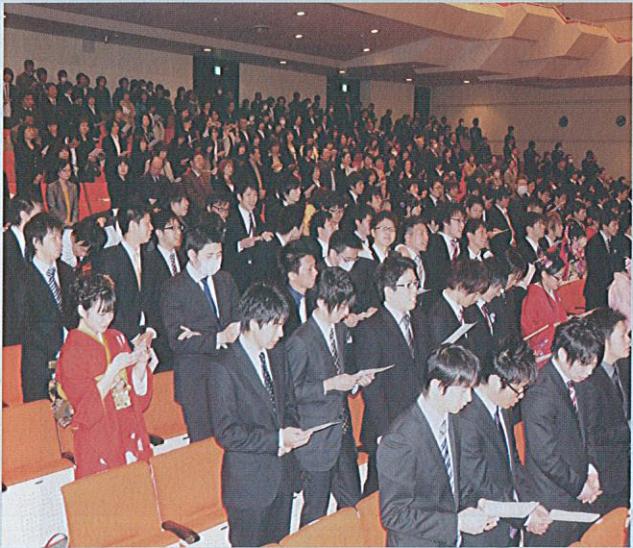
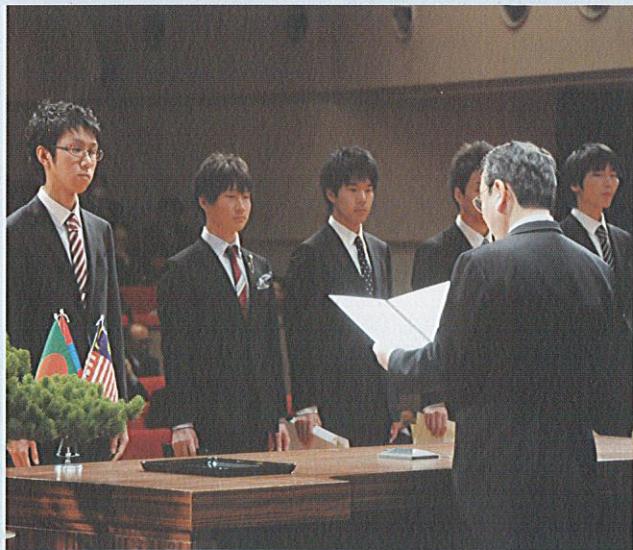
昨年6月にコンテスト会場となる三重県いなべ市で合宿を行い、候補地の現地調査や地域のヒアリング、その後、アイデアをほぼ1年かけて形にするために行ってきた取組みです。

コンテストは、3月9日（土）～10日（日）の2日間にわたり行われ、東海・北陸地区の9高専が参加し、9日（土）は特別審査員による審査、10日（日）は一般審査員による審査が行われました。本校チームは、水車により発電した電力を用水路にある水門の自動開閉に使用するという目的が明確であり、地域の要望にも応えるという点が評価され受賞となりました。



小水力発電機仮設置(鯖江市)

平成24年度卒業式 及び 学生表彰風景



題字 池田大祐前校長、マーク 本校ロゴマーク

平成25年4月3日発行 ☆福井工業高等専門学校 ☆〒916-8507 鯖江市下司町 TEL 0778-62-1111